

臨床序論

[M2-50017L1]

1 ユニットの概要

臨床序論では、臨床系の臓器別統合型学習を効果的に実践できるようになるために、臨床内科学、臨床放射線医学、臨床外科学、臨床感染症学の基本的知識、技術および心構え等を習得する。本ユニットでは、臨床医となるために根幹をなす知識を習得することに主眼を置き、下記の多岐にわたる企画を用意した。

【臨床内科学総論】

内科総論では、病理学の考え方を利用しながら、今後行われる臓器別統合型学習を効果的に実践できるようになるために、臨床内科学および実地医療に必要な基本的知識、技術および心構えを習得する。

内科学は臨床医学の基本である。医療面接での一つの症候から身体診察を行い、生理学・解剖学的な機序を理解した上で多くの疾患を鑑別し、臨床検査、生理検査、画像検査を駆使して確定診断に至る。さらに生活習慣の修正、薬物、輸液療法、リハビリテーションなどを利用して治療するダイナミックな学問である。その故に多くの知識、技能、倫理事項の習得が要求される。内科総論では上記一般目標に達するために多種の企画がなされている。

【臨床放射線医学総論】

放射線総論では、医学・医療の分野で広く用いられている放射線や放射線以外の電磁波・超音波などの診断・治療への応用について理解する。またユニットの到達目標は臨床実習中の学習と合わせて実習終了時に到達することを目標としている。

【臨床外科学総論】

外科総論では、臓器別統合型学習を効果的に実践できるようになるために、外科系臨床医学と外科医療の基本的な知識と技能ならびに態度を習得することを目的とする。

【臨床感染症学総論】

感染症総論では、臨床感染症学に関する基本的知識を習得する。そのために病原体に対する生体反応を理解し、感染症病態を把握する。さらに、免疫と生体防御について理解し、感染症の診断、治療および予防法を習得することを目的とする。

2 金沢医科大学の到達目標（アウトカム）

- ① 患者中心・コミュニケーション・チーム医療
- ② 医学知識と技能
- ③ 豊かな人間性と倫理観
- ④ 生涯学習
- ⑤ 地域医療・社会貢献
- ⑥ 科学的態度・探求心

3 ユニットの到達目標（アウトカム）

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

【臨床内科学総論】

- 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる (②)
- 多職種・チーム医療を理解し、医師の役割を理解できる (①③)
- 診療ならびに疾患の探求に必要な方法論（文献の検索、理解など）を実践できる (②④⑥)
- 医用機器の原理と使用法を概説できる (②)
- 収集した情報から臨床問題解決のための考察ができる (②⑥)
- 主要な症候・疾患の発症機序、病態生理が説明できる (②)
- 主要な症候・疾患を診断するための検査が理解できる (②)

【臨床放射線医学総論】

- 放射線診療を構成する多職種とのチーム医療を理解し、医師の役割を理解できる (①③⑤)
- 各種画像診断の原理を理解する (②④⑥)
- 各種画像診断の特長を理解し、適応疾患を述べる事ができる (②④⑥)
- 代表的な疾患の特長画像所見を理解し、画像診断を進める事ができる (②④⑥)
- 放射線治療、interventional radiology(IVR)など各種治療法の特長を知り、化学療法も加えた集学的腫瘍治療が理解できる (①②③④⑥)
- 画像診断における放射線被曝、造影剤の副作用を理解し、禁忌事項を把握する (①②③④)
- 放射線治療における有害事象を理解する (①②③④)
- 放射線診療における社会制度（厚生医療など）を説明できる (①⑤)

【臨床外科学総論】

- 外科（手術）に関係する原則的項目（患者の権利、自己決定権、および自己決定できない場合の対処法、インフォームド・コンセントの定義、必要性、必要条件、医療安全の確保、およびリスクマネジメントの原則）を理解する (①、②、③)
- 外科（手術）に関わる...
 - ・ 収集した情報から臨床問題解決のための考察ができる (②、⑥)
 - ・ 主要な症候・疾患の発症機序、病態生理が説明できる (②)
 - ・ 主要な症候・疾患を診断するための検査が理解できる (②)
 - ・ 主要な症候・疾患の治療が理解できる (②)
 - ・ 主要な症候・疾患の予後が理解できる (②)
- 外科（手術）医療に関わる...
 - ・ 多職種・チーム医療を理解し、医師の役割を理解できる (①、③)
 - ・ 社会制度（厚生医療など）を理解できる (⑤)

【臨床感染症学総論】

- 感染症の病態を説明できる (②)
- 感染症関連検査の概略を説明できる (②)
- 抗菌化学療法の概略を説明できる (②)
- 診療ならびに疾患の探求に必要な方法論（文献の検索、感染症診断治療指針の確認、等）を説明できる (②④⑥)
- 感染症に関わる...

- ・ 主要な症候・疾患の発症機序、病態生理が理解できる (②)
- ・ 主要な症候・疾患を診断するための検査が理解できる (②)
- ・ 主要な症候・疾患の病理像が理解できる (②)
- ・ 主要な症候・疾患の治療が理解できる (②)
- ・ 主要な症候・疾患の予後が理解できる (②)
- ・ ワクチン、感染予防対策が理解できる (②)
- 感染症の医療に関わる・・・
 - ・ 多職種・チーム医療を理解し、医師の役割を理解できる (①③)
 - ・ 院内感染対策の重要性と方法論を理解できる (①③)
 - ・ 感染症関連法規について理解できる (⑤)

※主要な疾患、症候、検査、治療

【臨床内科学総論】

症候

動悸、胸痛、呼吸困難、ショック、咳・痰、血痰・喀血、呼吸困難、胸水、チアノーゼ、腹痛、悪心・嘔吐・下痢、吐血・下血、黄疸、便秘、食思不振、腹部膨隆・腫瘤、浮腫、タンパク尿、血尿、尿量異常、めまい・頭痛、運動麻痺、筋力低下、感覚障害、意識障害、けいれん、全身倦怠感、貧血、発熱、出血傾向、リンパ節腫脹、関節痛・関節腫脹、嚥下障害、脱水、腰背部痛、発疹、肥満、るいそう

【臨床放射線医学総論】

画像解剖

脳神経、頭頸部、脊髄・脊椎、肺・縦隔、心・大血管、上部消化管、下部消化管、肝・胆・膵・脾、尿路、生殖器

画像診断法

単純 X 線撮影、消化管透視、CT 検査 (頭部、全身)、超音波検査、MRI 検査、核医学検査 (PET/CT、SPECT)

主要な治療法

放射線治療 (外部放射線治療、小線源放射線治療)、Interventional Radiology (IVR)、集学的腫瘍治療

【臨床外科学総論】

症候と病態

ショック (定義、原因と病態、診断の要点および治療)
 救急外科、特に外傷 (原因、病態および対処法)
 熱傷 (病態、重傷度判定、および治療)
 創の治療に影響を与える因子
 敗血症および DIC (病態、診断および治療)

基本的診療知識

外科的治療の基本的考え方
 手術侵襲による生体反応、その対応の基本
 手術の危険因子、その対応の基本
 主な術後合併症、その予防の基本
 滅菌、消毒の種類と方法

薬物による止血、外科的止血法
 輸血の適応、種類、副作用
 移植の概念、適応、種類
 救急患者の初期治療の原則と対応の基本
 血管造影を用いた治療の原理、主な治療法と適応

基本的診療技能

手術用手指消毒、ガウンテクニック、および基本的な外科手技の要点と手順

検査・医用機器など

臨床検査、血圧測定、心電図、超音波検査、CT/MRI 検査、核医学検査

【臨床感染症学総論】

症候

発熱、発赤、腫脹、疼痛、(敗血症) ショック、低血圧、筋肉痛、頭痛、意識障害、呼吸困難、
 咳嗽、喀痰、下痢・嘔吐、リンパ節腫脹、発疹、出血症状

疾患・治療

敗血症、グラム陽性菌感染症、グラム陰性菌感染症、薬剤耐性菌感染症、リケッチア、クラ
 ミジア感染症、真菌感染症、市中ウイルス感染症、日和見ウイルス感染症、寄生虫・原虫感
 染症、プリオン病、新興再興感染症、輸入感染症、院内感染症、抗菌化学療法、ワクチン

検査・医療機器など

微生物学的検査（染色、培養、同定、薬剤感受性）、微生物迅速検査、微生物遺伝子検査、薬
 物血中濃度測定、感染症関連マーカー

4 学 習 方 略

統合型講義、授業の内容は授業計画表に示す。

5 評 価

評価区分	評価項目	評価の対象	評価割合
形成的評価	実習・レポート	技能・態度	/
	PBL	技能・態度	
	口頭試問	知識	
	授業の出席	態度	
総括的評価	ユニット試験	知識	100%
	その他		
合計			100%
ユニットの単位認定は、ユニット試験の結果を主として判断する。合格点に達しない場合は、授業の出席、実習中の態度、レポートなどの結果を加味して最終的に行う。また、試験は本ユニット全体で1つの試験として実施する。試験は全ての講義から出題し、選択式と記述式の両方の設問を設ける。			

6 授業スケジュール

別項参照

7 事前事後学修について

教科書の該当部分を読んでおくこと。

シラバスの資料についてあらかじめ印刷し、目を通しておくこと。

【自己学習（準備学習）に必要な時間】

1 時限あたり 予習：60 分、 復習：30 分

8 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

ユニットの途中で行う試験に関しては、試験後に配布する解答・解説冊子等で、適宜フィードバックを行う。

ユニットの途中で行う試験に関しては、アンケート結果や質問をもとに、解説を提示する。

9 教育担当者

ユニット責任者：高村 博之（一般・消化器外科学）

各部門責任者：臨床内科学（大黒 正志：高齢医学）、臨床放射線医学（南 哲弥：放射線医学）、臨床外科学（高村 博之：一般・消化器外科学）、臨床感染症学（飯沼 由嗣：臨床感染症学）

講義担当教員については、授業計画表に示す。

10 参考図書・文献

※内科総論

購入すべき図書

「内科診断学」第3版 医学書院（福井 次矢、奈良 信雄 編）

「新臨床内科学 [ポケット判]」第10版 医学書院（矢崎 義雄・監）

「検査結果の読み方、考え方」メジカルビュー社（北村 聖 編集）

「心電図を学ぶ人のために」第4版 医学書院（高階 経和 著）

「シンプル衛生公衆衛生学 2023」南江堂（鈴木 庄亮 監修、小山 洋、辻 一郎 編）

「入門リハビリテーション概論」第7版 医歯薬出版（中村 隆一 編）

「手に取るようにわかる心電図入門」改訂版 ベクトルコア社（杉浦 哲朗 監修）

「標準臨床検査医学」第5版 医学書院（高木 康、山田 俊幸 編）

「Procedures Consult」金沢医科大学 HP → 学生・教職員 → イン트라ネット →

→ 図書館 → 「臨床手技・学習ツール」→ Procedures Consult（医療技術動画）

「ナーシング・スキル」金沢医科大学 HP → 学生・教職員 → イン트라ネット →

→ 図書館 → ナーシング・スキル日本版（医療技術動画）

※放射線総論

購入すべき図書

「標準放射線医学」第7版 医学書院（西谷 弘／遠藤 啓吾／松井 修／伊東 久夫 編）

※外科総論

購入すべき図書

「標準外科学」第16版 医学書院（北野 正剛 監修、坂井 義治／田邊 稔／池田 徳彦
／大木 隆生 編集）

※感染症総論

購入すべき図書

「新臨床内科学 [ポケット判]」第10版 医学書院（矢崎 義雄・監）

購入するとよい図書

「ハリソン内科学 第5版」メディカル・サイエンス・インターナショナル（福井 次矢ら
監修）

「内科診断学 第3版」医学書院（福井次矢ら 編集）

「わかる！身につく！病原体・感染・免疫 改訂第3版」南山堂（藤本秀士 編著）

「目でわかる微生物学と感染症 第2版」メディカル・サイエンス・インターナショナル（山本 直樹 ら 監訳）

「病気がみえる VOL. 6 免疫・膠原病・感染症」メディックメディア

このほか各領域の推薦参考書は各教員におたずねください。

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	コアカリ項目	講座名	教員名
後	1	12月04日 (月)	1	講義	【臨床感染症学総論】「感染症の病態」	E-2-G, E-2-1, E-2-1-①, E-2-1-②, E-2-1-③, E-2-1-⑤, E-2-1-⑥	臨床感染症学	飯沼 由嗣 教授
後	2	12月04日 (月)	2	講義	【臨床感染症学総論】「感染症の診断」	E-2-2, E-2-2-①, E-2-2-②, E-2-2-③, E-2-2-④,	臨床感染症学	飯沼 由嗣 教授
後	3	12月04日 (月)	3	講義	【臨床内科学総論;内科的症候】「腹痛, 腹水・腹部膨隆・腫瘍」	D-1-3-⑦, D-5-3-⑥, D-7-3-②-②⑦, E-2-3-⑩, E-5-2-⑩, F-1-20(25), G-2-20(25)	肝胆膵内科学	土島 陸 教授
後	4	12月04日 (月)	4	講義	【臨床外科学総論】「臓器不全, 人工呼吸管理, 血液浄化法」	C-4-4, D-6-4-①-①, D-8-4-①-⑥	一般・消化器外科学	宮田 隆司 講師
後	5	12月04日 (月)	5	講義	【臨床内科学総論;内科的症候】「浮腫, 蛋白尿・血尿, 乏尿・多尿」	D-5-3-⑥, D-8-3-③-②③④, D-9-3-②-③, E-2-3-⑩, E-2-3-⑪, E-4-2-⑦⑩, E-5-2-⑩, F-1-11(28) 29, G-2-11(28) 29)	腎臓内科学	古市 賢吾 教授
後	6	12月04日 (月)	6	講義	【臨床外科学総論】「人工肛門, 緩和, インフォームドコンセント」	A-1-2-④, E-3-3-⑦, F-2-9-②-④, F-2-16)	一般・消化器外科学	藤田 秀人 准教授
後	7	12月05日 (火)	1	講義	【臨床外科学総論】「救急外科と外傷」	G-3-4	救急医学	和藤 幸弘 教授
後	8	12月05日 (火)	2	講義	【臨床内科学総論;内科的症候】「動悸, 胸痛」	D-5-3-⑫⑬, F-1-16) 17, G-2-16) 17)	循環器内科学	梶波 康二 教授
後	9	12月05日 (火)	3	講義	【臨床内科学総論;内科的症候】「ショック」	C-4-4-③, D-5-3-⑤, E-2-3-①, E-5-2-①, F-1-05, F-2-08-③, G-2-05)	循環器内科学	梶波 康二 教授
後	10	12月05日 (火)	4	講義	【臨床内科学総論;身体診察】「血圧, 胸部(心・肺), 腰背部痛」	C-4-4-④, D-5-1-⑬, F-2-09-②-②, F-3-5-④, G-2-35)	循環器内科学	岩垂 瑞徳 先生(梶波教授)
後	11	12月05日 (火)	5	講義	【臨床内科学総論;内科的症候】「全身倦怠感, 食欲不振」	D-1-3-②, D-5-3-②, E-2-3-⑥, E-4-2-③, F-1-02, G-2-02, D-5-3-③, D-7-3-②-④, F-1-03, G-2-03)	糖尿病・内分泌内科学	熊代 尚記 教授
後	12	12月05日 (火)	6	講義	【臨床放射線医学総論】「核医学検査」	F-2-05-②	放射線医学	望月 孝史 教授
後	13	12月06日 (水)	1	講義	【臨床内科学総論;臨床基本事項】「医療コミュニケーション 診療録 POMR・POS」	A-3-1-④, A-4, A-6-1-③, B-2-2-①, C-5-7, F-3-2-②, F-3-3, G-1-1-①-04,	医学教育学	堀 有行 教授
後	14	12月06日 (水)	2	講義	【臨床内科学総論;臨床基本事項】「医の倫理と生命倫理, 患者と医師の関係」	A-1-1), A-4-2)	医学教育学	堀 有行 教授
後	15	12月06日 (水)	3	講義	【臨床内科学総論;臨床基本事項】「医師の義務・裁量権」	A-1-3)	医学教育学	堀 有行 教授
後	16	12月06日 (水)	4	講義	【臨床内科学総論;内科的症候】「めまい・頭痛」	D-2-3-③④, D-2-4-(08), D-5-3-⑧⑩, D-13-3-(2)-①②, D-14-3-(2)-①, E-2-3-⑥, F-1-09(33), G-2-09, G-2-21-③, G-2-33)	脳神経内科学	朝比奈 正人 教授
後	17	12月06日 (水)	5	講義	【臨床内科学総論;内科的症候】「意識障害・けいれん」	D-2-3-①②, D-5-3-⑥⑦, E-2-3-③④, E-5-2-③, F-1-07) 08, G-2-07) 08)	脳神経内科学	朝比奈 正人 教授
後	18	12月06日 (水)	6	講義	【臨床内科学総論;医療面接・臨床推論】「医療面接, 内科診療の組み立て方」	F-2-01-②, F-3-2, G-4-1-①)	金沢医科大学水見市民病院	笠巻 祐二 教授

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	コアカリ項目	講座名	教員名
後	19	12月07日(木)	1	講義	【臨床感染症学総論】「細菌感染症」	E-2-4-(2)	臨床感染症学	飯沼 由嗣 教授
後	20	12月07日(木)	2	講義	【臨床感染症学総論】「ウイルス感染症, 真菌感染症, 原虫感染症」	E-2-4-(1), E-2-4-(3)	臨床感染症学	飯沼 由嗣 教授
後	21	12月07日(木)	3	講義	【臨床内科学総論; 臨床検査】「血球検査, 尿検査, 凝固・線溶系検査, 血液型・交差適合試験, 血液製剤」	D-1-2)-①, F-2-03)-⑤, D-1-1)-⑤, F-3-6)-(2)-①, G-3-2)-⑤, F-2-13)-①②	血液免疫内科学	水田 秀一 教授
後	22	12月07日(木)	4	講義	【臨床内科学総論; 内科の症候】「貧血・出血傾向」	D-1-3)-④⑤, D-1-4)-(1) (2), E-4-2)-⑤, E-5-2)-⑦, F-1-26), G-2-14)-③ G-2-24)-② 26)	血液免疫内科学	坂井 知之 講師
後	23	12月07日(木)	5	講義	【臨床内科学総論; 内科の症候】「脱水症, 嚥下障害, 発疹」	D-8-3)-(3)-①, D-14-3)-(2)-②, E-2-3)-③④, E-4-2)-④, E-5-2)-④⑤, E-8-1)-③, F-1-10) 12), G-2-10) 12)	高齢医学	森本 茂人 教授
後	24	12月07日(木)	6	講義	【臨床内科学総論; 身体診察】「目・耳・鼻・口腔・頸部の診察」	F-3-5)-(3)	総合内科学	中橋 毅 教授
後	25	12月08日(金)	1	講義	【臨床内科学総論; 臨床基本事項】「臨床試験・治験と倫理性(医学研究と倫理)」	B-3-1)-G, ①～⑤	総合医学研究所	丹羽 修 様
後	26	12月08日(金)	2	講義	【臨床内科学総論; 身体診察】「腹部の診察」	F-3-5)-(5)	肝胆膵内科学	尾崎 一品 准教授
後	27	12月08日(金)	3	講義	【臨床放射線医学総論】「超音波検査」	F-2-05)-③	放射線医学	高橋 知子 講師
後	28	12月08日(金)	4	講義	【臨床外科学総論】「外科腫瘍学, 臓器移植, 脳死」	B-2-1)-①, C-4-6), F-2-13)-G, G-2-02)-⑤	一般・消化器外科学	高村 博之 教授
後	29	12月08日(金)	5	講義	【臨床放射線医学総論】「CT検査」	F-2-05)-①	放射線医学	道合 万里子 先生
後	30	12月08日(金)	6	講義	【臨床放射線医学総論】「MRI検査」	F-2-05)-①	放射線医学	道合 万里子 先生
後	31	12月11日(月)	1	講義	【臨床感染症学総論】「主要な感染症(性感染症, 食中毒)」	E-2-4)-(4), E-5-3)-(1)-①	臨床感染症学	飯沼 由嗣 教授
後	32	12月11日(月)	2	講義	【臨床感染症学総論】「新興再興輸入感染症」	E-2-1)-⑦	臨床感染症学	飯沼 由嗣 教授
後	33	12月11日(月)	3	講義	【臨床内科学総論; 臨床検査】「生化学検査, 免疫・血清学的検査, 内分泌・代謝機能検査(負荷試験)」	F-2-03)-⑤⑥⑦, G-3-2)-⑤	糖尿病・内分泌内科学	中川 淳 教授
後	34	12月11日(月)	4	講義	【臨床放射線医学総論】「血管造影検査」	E-6-2)-②	放射線医学	南 哲弥 教授
後	35	12月11日(月)	5	講義	【臨床外科学総論】「外科的侵襲, サイトカインと生体反応(SIRS, 敗血症, DIC)」	E-2-1)-① G-3-3)-⑥	一般・消化器外科学	岡本 浩一 准教授
後	36	12月11日(月)	6	講義	【臨床外科学総論】「周術期の栄養管理(輸液と経管・経腸栄養), 栄養サポートチーム, 周術期輸血」	F-2-09)-(2)-⑦, F-2-11), F-2-13)-①～④	一般・消化器外科学	甲斐田 大資 助教
後	37	12月12日(火)	1	講義	【臨床外科学総論】「創傷治癒と熱傷」	E-5-3)-(3), F-2-09)-(1)-④, G-4-1)-(2)-③	形成外科学	島田 賢一 教授
後	38	12月12日(火)	2	講義	【臨床感染症学総論】「薬剤耐性菌感染症」	E-2-1)-④	臨床感染症学	飯沼 由嗣 教授
後	39	12月12日(火)	3	講義	【臨床感染症学総論】「抗菌薬の種類と適正使用」	E-2-2)-⑤, E-2-2)-⑥, F-2-8)-⑤	臨床感染症学	飯沼 由嗣 教授
後	40	12月12日(火)	4	講義	【臨床放射線医学総論】「放射線治療(放射線生物物理学)」	F-2-05)-③	放射線医学	太田 清隆 助教
後	41	12月12日(火)	5	講義	【臨床内科学総論; 内科の症候】「吐血・下血」	D-7-3)-(2)-⑥, E-2-3)-②, E-5-2)-③, F-1-22), G-2-22)	消化器内視鏡科	北方 秀一 教授
後	42	12月12日(火)	6	講義	【臨床内科学総論; 内科の症候】「悪心・嘔吐, 下痢・便秘」	D-5-3)-⑦, D-7-3)-(2)-③⑤, E-2-3)-⑧⑨, E-5-2)-①②, F-1-21)23), G-2-21)23)	消化器内視鏡科	北方 秀一 教授

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	コアカリ目	講座名	教員名
後	43	12月13日 (水)	1	講義	【臨床内科学総論;内科的症候】「黄疸」	D-1-3)-③, D-7-3)-(2)-①, E-2-3)-⑦, E-5-2)-⑤, F-1-24), G-2-24)	肝胆膵内科学	齊藤 隆 講師
後	44	12月13日 (水)	2	講義	【臨床内科学総論;内科的症候】「運動麻痺・筋力低下・感覚障害」	C-2-3)-(2)-④, D-2-3)-⑤, D-4-3)-①, D-14-1)-⑤, E-5-2)-③, F-1-34), F-3-5)-(6)-⑤, G-2-34)	脳神経内科学	朝比奈 正人 教授
後	45	12月13日 (水)	3	講義	【臨床内科学総論;身体診察・臨床検査】「神経診察, 髄液検査」	F-2-03)-⑬, F-3-5)-(6)	脳神経内科学	朝比奈 正人 教授
後	46	12月13日 (水)	4	講義	【臨床内科学総論;臨床検査】「12誘導心電図の原理と臨床応用:不整脈と虚血性心疾患の診断」	D-5-1)-③, D-5-1)-④, D-5-2)-③, G-3-2)-⑦, D-5-4)-(02), D-5-4)-(03)	高齢医学	岩井 邦充 教授
後	47	12月13日 (水)	5	講義	【臨床内科学総論;臨床検査】「病理組織学的検査・細胞診の基礎」	F-2-04)	臨床病理学	山田 壮亮 教授
後	48	12月13日 (水)	6	講義	【臨床内科学総論;臨床基本事項】「生活習慣と疾病リスク, 医療統計, 根拠に基づいた医療 (EBM)」	B-1-1)~5)	公衆衛生学	西野 善一 教授
後	49	12月14日 (木)	1	講義	【臨床放射線医学総論】「胸部疾患の画像解剖」	F-2-05)-②	放射線医学	南 哲弥 教授
後	50	12月14日 (木)	2	講義	【臨床放射線医学総論】「中枢神経・頭頭部の画像解剖」	F-2-05)-⑤	放射線医学	南 哲弥 教授
後	51	12月14日 (木)	3	講義	【臨床内科学総論;内科的症候】「発熱, リンパ節腫脹」	D-1-3)-①⑥, D-5-3)-①, E-2-3)-②⑨, E-4-2)-②⑥, E-5-2)-②, F-1-01) 27), G-2-01) 27)	血液免疫内科学	正木 康史 教授
後	52	12月14日 (木)	4	講義	【臨床内科学総論;内科的症候】「関節痛・関節腫脹」	D-4-3)-②, E-2-3)-(22), E-4-2)-⑪, F-1-36), G-2-36)	血液免疫内科学	山田 和徳 准教授
後	53	12月14日 (木)	5	講義	【臨床内科学総論;内科的症候】「咳・痰, 喘鳴, 血痰・喀血, 呼吸困難・チアノーゼ, 胸水」	D-5-3)-⑩⑪⑫, D-6-3)-(1), D-6-3)-(2)-①③④⑤, E-2-3)-⑩⑬⑭⑮, E-4-2)-⑧⑨, E-5-2)-⑧, F-1-13) 14) 15) 18), F-2-03)-⑬, G-2-13) 14) 15) 18)	呼吸器内科学	梅 博久 教授
後	54	12月14日 (木)	6	講義	【臨床内科学総論;臨床検査】「動脈血分析, 呼吸機能検査」	F-2-03)-⑫⑬	呼吸器内科学	梅 博久 教授
後	55	12月15日 (金)	1	講義	【臨床感染症学総論】「ワクチン」	E-2-2)-⑦, C-3-1)-(2)-②, C-3-1)-(2)-③	臨床感染症学	飯沼 由嗣 教授
後	56	12月15日 (金)	2	講義	【臨床感染症学総論】「感染予防対策」	A-6-1)-⑦, A-6-3)-G, E-2-4)-(5)	臨床感染症学	飯沼 由嗣 教授
後	57	12月15日 (金)	3	講義	【臨床放射線医学総論】「腹部疾患の画像解剖」	F-2-05)-②, F-2-07)-①	放射線医学	土屋 紘一 助教
後	58	12月15日 (金)	4	講義	【臨床放射線医学総論】「単純X線撮影, 消化管造影検査」	F-2-05)-①	放射線医学	近藤 環 助教
後	59	12月15日 (金)	5	講義	【臨床内科学総論;内科的症候】「肥満・るいそう」	C-4-3)-⑥, D-12-3)-(3)-①,	糖尿病・内分泌内科学	竹田 安孝 講師
後	60	12月15日 (金)	6	講義	【臨床内科学総論;臨床基本事項】「医療の質の確保・医療事故の発生と再発の防止, 診療録・医療記録, チーム医療」	A-6-G, ①~③	一般・消化器外科学	高村 博之 教授
後		12月16日 (土)	1	試験	試験			
後		12月16日 (土)	2	試験	試験			
後		12月16日 (土)	3	試験	試験			